国立大学附置研究所・センター会議
令和７年度 第３部会シンポジウム

「多様性」をどのように生きるか

―複眼的に考える地域の姿

2025年
10月4日（土）
13:30―16:30

「多文化共生」や「多様性の包摂」は、日本の政府、地方自治体や企業において実現すべき価値とされてきました。大学でもこれらの言葉を冠した学内組織が多数活動しています。

ところが、近年の欧米における反移民感情の高まりは国内・国際政治の風景を変えつつあり、日本でもその動きがあらわになってきました。「公平性を確立して多様な人々を包摂すること」の価値が揺らぎつつあります。人口減少が予想以上の速さで進むなか、私たちは「多様性」をどのようにとらえて、自らのものとして生きてゆくべきなのでしょうか。

本シンポジウムは、この喫緊の課題に対してグローバルな視点から議論します。

会場 ハイブリッド開催　**参加費** 無料

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所 大会議室／Zoom
住所：〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

※参加には事前申し込みが必要です
下記のQRコードもしくはURLよりお申し込みください
【申込期限】2025年10月3日（金）正午まで

オンラインでの参加をご希望の方はこちら▶
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_C5BkjKYpSc6maJq-A76eUA

来場にて参加をご希望の方はこちら▶
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeuTH3FuqWMHxIwAovbYp37fLMxd0HI4_I6degRzZP1MHNmEA/viewform

プログラム

司会 **黒木英充**（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 教授）

1. 開会挨拶
   中山俊秀（東京外国語大学 副学長）
2. 趣旨説明
   黒木英充
3. 報告①
   品川大輔（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 准教授）
   多言語大陸アフリカの語られ方 ―「普遍的価値」としての言語多様性をめぐるバイアスと現実

4. 報告②
   中溝和弥（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 教授）
   多様性とインド民主主義
   ―「世界最大の民主主義国」の試練

5. 報告③
   永吉希久子（東京大学社会科学研究所 教授）
   日本において共生は可能か
   ― 外国人受け入れをめぐる世論と「寛容」の限界

6. 総合討論
   ディスカッサント
   高倉浩樹（東北大学東北アジア研究センター センター長）

7. 閉会挨拶
   近藤信彰（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 所長）

お問い合わせ先
東京外国語大学総務企画部研究協力課共同研究拠点係
メール：kenkyu-zenkoku@tufs.ac.jp

JcRIC 国立大学附置研究所・センター会議　東京外国語大学 Tokyo University of Foreign Studies　ILCAA

主催：国立大学附置研究所・センター会議 第３部会 / 共催：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所